

みんなの協力で、子どもたちが心のケアを受けられる社会へ。



# サポチル

認定NPO法人 子どもの心理療法支援会

精神分析的な心理療法研修プログラム(関西 2023-24年)

## 募集要項

### はじめに

わたしたち「子どもの心理療法支援会」は、発足18周年を迎えました。寄付金控除などの税制が優遇される認定NPO法人として認められるなど、本会活動の社会的意義も認識されています。

本会の精神分析的な心理療法研修プログラムは、精神分析的な心理療法及び心理療法、心理支援に関する高い専門性を有した臨床家を育成していく活動の一環として開講しています。皆様が自立性・自主性・専門性を持ち、目指す成長を達成するために学ぶことができる「場＝アトリエ」を提供する「アトリエシステム」をスローガンにしております。

この「場＝アトリエ」が、ここに集う臨床家の、日々の臨床を支える場、活力を取り戻す場となることを願います。

### ・サポチル精神分析的な心理療法研修プログラムの特徴

対話を重視した少人数制のプログラムです。心理療法・心理支援に関する理論への疑問や連想、日々の臨床現場での体験を、講師や他の参加者と共有し、話し合います。様々な背景と経験を持つ人々との対話は、より深く、多様で、時には新しい理解を提供します。

そのほかにも、通年の講義形式で、一つのテーマについて複数の講師から学ぶ臨床セミナー、より実践的かつ集中的な学習を可能とする訓練コースなどがあります。訓練コースにつきましては、直接、子どもの心理療法支援会訓練コースグループ事務局(training@sacp.jp)までお問合せください。

### ・今年度の留意点

各プログラム(仙道先生のプログラムを除く)にオンライン参加枠を維持し、引き続き関西圏以外にお住まいの方にも参加していただくことができます。ただし、精神分析学会の系統講義、症例・事例検討会のオンライン参加につきましては、2023年3月末以降、資格認定要件として認められるかどうかは未定ですのでご注意ください。

### ・今年度の主なプログラム内容の変更点

飛谷渉先生のGSV Iは昨年度を持ちまして終了いたしました。1ターム4年で実施している精神分析入門セミナーは、3クール目の2年目となり、「対象関係論の展開」がテーマです。また、同じく1ターム4年で実施している文献講読 I は、京都が「フロイト」(1年目)、大阪は「現代クライン」(4年目)となります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

認定NPO法人 子どもの心理療法支援会  
理事長 平井正三

## 目次

1.プログラム一覧	P2～
2.お申し込み	P4～
3.修了証の発行	P5～
4.研修プログラム内容	P5～
5.セミナー紹介	P6～
乳児観察セミナー	
精神分析入門セミナー	P7～
ワーク・ディスカッションセミナー	
文献講読Ⅰ クライン	
文献講読Ⅰ 現代クライン	P8～
文献講読Ⅲ 久保先生・狗巻先生	P9～
文献講読Ⅲ 榊原先生	
Small Group S.V. Ⅲ (仙道先生)	P10～
森ノ宮事例検討会	P11～
思春期青年期の精神分析的な心理療法セミナー	
心理療法のアセスメント(成人)	P12～
初学者向け子どもの心理療法セミナー	
MBT-Cを臨床に生かす	P13～
土曜研究会	P14～
6.講師紹介	P15～
7.会場	P16～

## 1. プログラム一覧

●下記日程は、講師の都合で一部変動することがあります。ご了承ください。

コース名		講師	会場	定員	オンライン	日時	受講料	支払い方法
乳児観察セミナー		平井正三	御池 オンライン	5名	可	毎週月曜日 19:30～21:00	5,000円 /1回	B
		鶴飼奈津子	梅田 オンライン	5名	可	毎週土曜日 10:30～12:00		
精神分析入門セミナー (小人数の講義形式)		津田真知子 竹山陽子/他	京橋 オンライン	10名	可	第2土曜日 15:30～18:00	30,000円 /全10回	A
ワーク・ディスカッションセミナー		鈴木誠	御池	8名	可	第3土曜日 18:30～21:00	50,000 円 /全10回	A
文献講読	文献講読Ⅰ フロイト	平井正三	御池 オンライン	12名	可	第1土曜日 18:00～20:30	正会員 50,000円 /全10回	A ※正会員 割引は2 月の理事

	現代 クライン	飛谷 涉	なんば オンライン	15名	可	第4土曜日 18:30～21:00	その他 60,000円 /全10回	会までに 入会が承 認され た方/ 前年度 の会費 を納め られて いる方 に限 ります ※	
	文献講読Ⅲ 「こころの発達心理学」	(前半) 久保信代 (後半) 狗巻修司	(前半) オンライン (後半) 御池	12名	可	第2土曜日 16:30～18:30			
		榊原久直	オンライン	12名	可	第3土曜日 19:00～21:00			
G S V	Small Group SupervisionⅢ	仙道由香	新大阪	4名	不	第2・4火曜日 8:30～10:00	6,000円 /1回90分	B	
	森ノ宮事例検討会	津田真知子 竹山陽子/他	京橋 オンライン	10名	可	第2土曜日 18:30～20:30	25,000円 /全10回		
勉 強 会 ・ ワ ー ク シ ョ ッ プ	思春期青年期の精神 分析的な心理療法セミ ナー	飛谷 涉	なんば オンライン	15名	可	第2土曜日 18:30～21:00 (月により第5 土曜日開催)	50,000円 /全10回		
	心理療法のアセスメン ト(成人)	仙道由香	新大阪	5名	不	第4土曜日 18:30～21:00			
	初学者向け 子どもの心理療法セミ ナー	渡邊智奈美	オンライン	8名	可	第2土曜日 13:00～15:00	20,000円 /全10回		
M B T 関 連 プ ロ グ ラ ム	MBT-Cを臨床に生か す	ガヴィニオ 重利子	オンライン	15名	可	第1金曜日 20:00～22:30	50,000円/ 全10回	A	
	MBT-Cベーシックト レーニング	詳細が決まり次第、正会員メーリングリスト、およびホームページなどでお知らせします。							
	MBT-C Group Super Vision(外部)	ご関心のある方は、研修プログラムグループ事務局までお問い合わせください。							
研 究 会	土曜研究会	土曜研究会 委員会企画	御池 オンライン	—	可	第3土曜日 19:00～22:00	無料	NPO正会 員のみ	

### 【研修プログラムへのオンライン参加について】

ほとんどのプログラムにオンラインで参加できます。ただし、仙道先生の「Small Group S.V.Ⅲ」・「心理療法のアセスメント(成人)」につきましては、講師が必要と判断した場合のみオンライン参加が可能ですので、お申し込み後に直接講師とご相談いただくこととなります。

### 【支払い方法】

A: 受講料は3月末までに納入してください。やむを得ない事情で分納を希望される方は、研修プログラムグループ事務局にご相談ください。

B: セミナー開講後、講師の指示に従ってください。

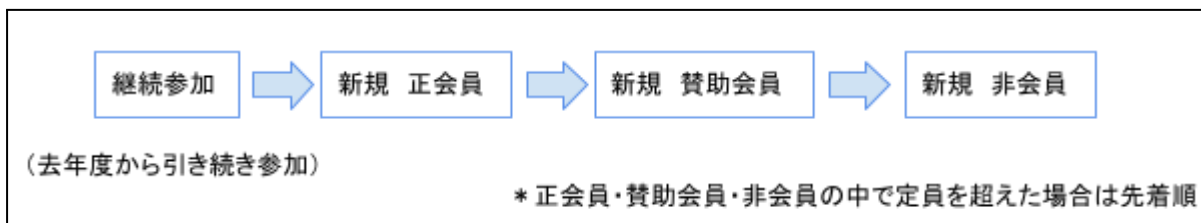
※一度納入されました受講料は、返金いたしかねますのでご了承ください。

※研修プログラムの半年単位の参加はご遠慮いただいております。1年間の参加によって得られる濃密な学びとメンバーシップをサポートでは重視しているためです。料金の分納制度はあくまで受講生の振込みのご負担を軽減するための措置です。

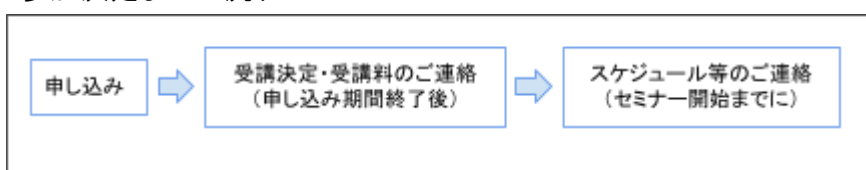
※申込時に2022年度の正会員会費の納入が確認できない場合には、非会員価格が適用されます。

## 2. お申し込み

- 対象: 臨床心理士、公認心理師、医師、それに準じる専門家。もしくは心理臨床の実践について学んでいる大学院生。
- 参加希望者が定数を超えた場合の優先順位



- 参加決定までの流れ



\* 連絡は、原則、E-mailで行います。他の連絡方法をご希望の方は、研修プログラムグループ事務局 ([kenshu@sacp.jp](mailto:kenshu@sacp.jp)) までご相談ください。

例年、事務局からメールが届かないという事例が散見されます。1週間以上返事が無い場合はメールの不具合の可能性がありますので、事務局までお問合せください。また、迷惑メールフォルダなどに自動的に振り分けられることもありますので、ご確認をお願いいたします。

### 【お問い合わせ】

認定NPO法人 子どもの心理療法支援会 研修プログラムグループ事務局  
〒604-8187 京都市中京区東洞院通御池下る笹屋町444初音館302  
Fax: 075-600-3238 / E-mail: [kenshu@sacp.jp](mailto:kenshu@sacp.jp) / URL: <http://sacp.jp/>

### 【お申し込み方法】

**2023年2月20日**までに、フォーム(URL及びQRコード)にてお申し込みください。フォームでのお申し込みが難しい場合には研修プログラムグループ事務局 ([kenshu@sacp.jp](mailto:kenshu@sacp.jp)) までご相談ください。



<https://forms.gle/tFQn32wGXcU9FwEX8>

### 3. 修了証の発行

「初學者向け子どもの心理療法セミナー」「MBT-Cを臨床に生かす」「土曜研究会」を除く各セミナーについて、年度毎に修了証を発行いたします。修了証は、本NPOがコース修了と考える基準を明確にし、受講生がその基準を満たしたことを証明するためのものです。

特に、日本精神分析学会認定の精神分析的な心理療法士・精神療法医資格取得のために単位を必要とされる方は、該当するプログラムの修了証(又は7割の出席で発行される研修証明書)を得る必要があります。該当される方は、研修事務局にご相談ください。

また、NPO法人子どもの心理療法支援会が認定する「子どもの精神分析的な心理療法士」の資格取得を目指される方は修了証を取得していただく必要があります。詳しくは、受講確定後に配布する「受講の手続き」をご参照ください。各コースにおいて、修了証を受け取るためには、以下の要件を満たすことが必要となります。

乳児観察	2年間の乳児観察を終了すること
G.S.V.	出席率8割
その他セミナー	8割の出席および各講師が指定したテーマに沿ったエッセイの提出

なお、日本精神分析学会の認定グループには、セミナー紹介に、このようなマークが記載されています。

精神分析学会認定研修グループ  
(系統講義)

精神分析学会認定研修グループ  
(症例・事例検討会)

### 4. 研修プログラム内容

研修プログラムは以下の4つから構成されています

基幹セミナー	子どもの臨床全般に役立つ内容です。
応用セミナー	講師の先生方が独自に運営されるセミナーを、本研修プログラムの一つとして組み入れているものです。
子どものメンタライゼーション 関連プログラム	メンタライゼーションを子どもの臨床に生かしていくためのセミナーです
委員会企画勉強会	有志が企画している勉強会です。 受講料無料で参加していただけます。

## 5.セミナー紹介

### 【乳児観察セミナー】

講師：平井正三先生  
会場：御池（ハイブリッド）  
日時：毎週月曜日／19:30～21:00

講師：鵜飼奈津子先生  
会場：梅田（ハイブリッド）  
日時：毎週土曜日／10:30～12:00

#### 講師（平井先生）からの内容紹介

本セミナーでは、タビストック方式乳児観察を実際に経験することで、乳児の心の世界や母子関係の実際に触れる一方、精神分析的観察のスタンスを身につけていくことを目指していきます。参加者は、2年間毎週1時間観察のために、そしてさらにそれ以上の時間を記録のために費やすことのできるコミットメントを必要とします。

乳児観察の経験は子どもの精神分析的心理療法の研修の基礎であると、本NPOは考えています。精神分析的心理療法を実践するにあたって、基本的な治療者の態度について学ぶことができます。心理療法の事例を持たない方の参加も歓迎しています。

本セミナーに参加を希望される方に対しては、事前に始め方などをご相談いただく機会を設けます。本セミナーのお申し込みやお問合せは研修プログラムグループ事務局（[kenshu@sacp.jp](mailto:kenshu@sacp.jp)）もしくは講師にご連絡ください。なお、定員を超過した場合は「観察と臨床基礎コース」希望者の参加が優先されます。

### 【精神分析入門セミナー】

講師：津田真知子先生 竹山陽子先生他  
会場：京橋（ハイブリッド）  
日時：第2土曜日／15:30～18:00

精神分析学会認定研修グループ  
（系統講義）

#### 講師からの内容紹介

精神分析について基礎から学ぶことを希望されている方のためのセミナーです。また中堅の方にも再度、ご自分の学びを振り返る機会にさせていただくことのできるものになっています。精神分析学会認定系統講義ですので4年(100時間)で精神分析の全体を系統的に学べるようにプログラムが組んであります。

今回は3クール目の2年目で、「対象関係論の展開」のテーマで、対象関係論を概観します。この小規模セミナーは受容的な雰囲気の中で、講師の経験事例も聞きながら精神分析理論を生きた形で学べるように工夫されています。小規模なセミナーのために大規模なセミナーでは体験できない参加者同士の親密感や安心感を基に、出しにくい素朴な質問や疑問も率直に出せるのが特徴です。精神分析的臨床の力をつけるためには、絶えず実践と理論を行きつ戻りつしながら学び、深く考える態度を身につけることが必要です。また自分の疑問や考えを表現することが重要です。本セミナーはその訓練に寄与できるものと考えます。

講義は、主に精神分析学会の認定精神療法医・認定心理療法士、及び認定スーパーバイザーが担当します。また講師のほかにゲスト講師を加えて理解がより深まるように構成されています。オンライン参加も可能です。4年を1クールとしていますが、1年ごとの受講も可能ですので奮ってご参加下さい。

受講希望者多数の場合は、精神分析学会の会員の方の受講を優先させていただきます。

## 【ワーク・ディスカッションセミナー】

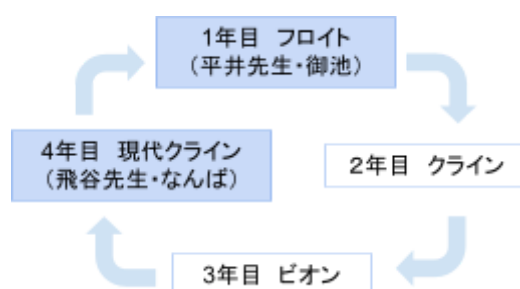
講師：鈴木誠先生  
会場：御池（ハイブリッド）  
日時：第3土曜日／18:30～21:00

### 講師からの内容紹介

本セミナーは、他職種との協働が求められる医療、福祉、教育などの臨床現場で、個人心理療法の枠組みに収まりきれない『職場の日常』に、精神分析のエッセンスを生かす方法論です。激しいところの痛みや情緒に巻き込まれて、対人援助職としてうまく機能できない場面について話し合い、探索して内省する力を養います。

## 文献講読 I 「精神分析のエッセンスを学ぶ」

文献講読 I は2つのセミナーが開講されています。平井先生（御池）は1ターム4年の1年目（フロイト）、飛谷先生（なんば）は1ターム4年の4年目（現代クライン）となります。



## 【文献講読 I フロイト】

講師：平井正三先生  
会場：御池（ハイブリッド）  
日時：第1土曜日 18:00～20:30

精神分析学会認定研修グループ  
(系統講義)

### 講師からの内容紹介

本セミナーでは、フロイトの著作を系統的に読んでいきます。主に岩波書店の全集を用います。

### 使用文献

『フロイト全集』岩波書店 キノドス『フロイトを読む』岩崎学術出版社

## 【文献講読Ⅰ 現代クライン】

講師：飛谷 渉先生

会場：なんば(オンラインもしくはハイブリッド)

日時：第4土曜日 18:30～21:00

精神分析学会認定研修グループ  
(系統講義)

### 講師からの内容紹介

精神分析の歴史を踏まえた理論的、技法的発展について、フロイトからクライン、クラインからビオン、さらに現代クライン派の展開というクライン派の系譜を軸に、4年間かけて系統的に学んでゆく文献講読コースです。次年度は4クール目の4年目にあたり、クライン派、ポスト・クライン派、現代クライン派といった後の流れを一年間かけて概観します。うち二回は講師が、クライン派の個々の分析家の仕事の概要を紹介するとともに、歴史的展開に焦点づけた講義を行います。文献講読は、クラインに学んだ分析家から、その後の世代まで、重要な概念的・技法的寄与のある分析家の論文、具体的には、シーガル、ローゼンフェルド、メルツァー、ジョゼフ、タスティン、ブリトン、シュタイナーなどの文献を一回につき二、三本ずつ講読します。今年度ビオンの文献講読に参加された方はもちろん、現代クライン派のナルシズム臨床に関心をお持ちの方、自閉スペクトラムに対する精神分析的理解の糧を得たい方に向けた構成にしています。今回だけのご参加の方にも適しています。コロナ感染状況を考慮し、オンラインもしくはハイブリッド開催を予定しています。

### 使用文献(必携書籍)

- ① Melanie Klein Today : Developments in theory and practice. Vol.1: Mainly theory Bott Spillius, E. (ed) Routledge,1988
- ② Melanie Klein Today : Developments in theory and practice. Vol.1: Mainly practice Bott Spillius, E. (ed) Routledge,1988
- ③ Clinical lectures on Klein and Bion. Robin Anderson(ed),Routledge,1992

### 参考文献

- ④ Rosenfeld in retrospect: Essays on his clinical influence. Routledge, 2008
- ⑤ The work of Hanna Segal: a Kleinian approach to clinical practice. Jason Aronson,1981
- ⑥ Oedipus Complex Today: Clinical implications. Karnac, 1989
- ⑦ Autistic Barriers in neurotic patients. Frances Tustin Karnac, 1986.
- ⑧ On Bearing Unbearable States of Mind. Riesenbergn-Malcolm, Routledge,1999
- ⑨ About children and children-no-longer,Heimann, P. Routledge,1989

参考(以下を参照されてもかまいませんが、できるだけ英文で読んで下さい。)

- メラニー・クライン・トゥデイ① 岩崎学術出版社  
メラニー・クライン・トゥデイ② 岩崎学術出版社  
メラニー・クライン・トゥデイ③ 岩崎学術出版社  
クラインとビオンの臨床講義 岩崎学術出版社



## 【文献講読Ⅲ「こころの発達心理学」久保先生・狗巻先生】

講師：(前半)久保信代先生 (後半)狗巻修司先生  
会場：(前半)オンライン (後半)御池(オンライン又はハイブリッド)  
日時：第2土曜日／16:30～18:30

### 講師(久保先生)からの内容紹介

2023年度は、2021年度に開始した3年タームの最終年です。これまでの学びの集大成として、発達早期の経験が与える影響についての章を講読します。本年度からの参加も大歓迎です。本講座では、子どもの情緒発達に関する最新の科学的知識が統合された『Nurturing Natures』(第2版)を講読しています。2011年に初版が出版され、邦訳もありますが、新たなトピックスが追加された2016年出版の原著第2版をテキストとしています。タビストッククリニックで数々の研修を提供してきた著者のわかりやすい解説は、私たちを子どもの心の世界にいざなってくれます。1回につき1章のペースでじっくり読み、子どもの心の発達について深くみつめていきたいと思います。

### 使用文献(テキスト)

Music, Graham. (2016) Nurturing Natures: Attachment and Children's Emotional, Social and Brain Development. London. Psychology Press (2nd edition)

### 講師(狗巻先生)からの内容紹介

発達早期における社会性および言語の発達は、のちの発達段階において極めて大きな影響を及ぼすとともに、自閉症スペクトラム障害を中心とした発達障害児に強く制約がみられます。そのため、発達障害児など社会性や言語の発達に課題をもつ子どもへの支援を行ううえでは、社会性や言語についての発達心理学や発達科学の研究を理解しておくことが求められます。今年度の文献講読では下記の文献を通じて、発達科学の最前線について学びます。

下記の文献を指定図書とし、受講者で発表を分担・全員でディスカッションを実施できればと思います。1回目は下記の文献の第1章を熟読した上でご参加ください。

### 使用文献

今福理博著『赤ちゃんの心はどのように育つのか』ミネル ヴァ書房, 2019年

## 【文献講読Ⅲ「こころの発達心理学」榊原先生】

講師：榊原久直先生  
会場：オンライン  
日時：第3土曜日／19:00～21:00

### 講師からの内容紹介

本セミナーでは子どもの精神分析的アプローチに隣接する、発達心理学や発達精神病理学、脳科学などの研究知見を紹介し、子ども個人のこころの発達や、子どもを取り巻く関係性の構成要因であり、育てる者・共に育つ者である養育者のこころの発達にも目を向け、“関係発達”や“関係障害”という視点から、発達の相互作用を捉えていくものです。

今年度は、前半は早期の親子関係とそこでのコミュニケーションの様相を音楽との類似点から説明する「Communicative Musicality(絆の音楽性)」に関する発達研究の知見を学びたいと思います。情緒的な関係性がどのように紡がれるのか、断絶するのか、そしてそれらはどのよ

うに子どもの心身の発達に影響するのかについて、一緒に思いを馳せられたらと思います。また、後半は脳と身体が双方向に連携を取りながら人間の生存と成長を助ける仕組みを説明する「ポリヴェーガル理論」の基礎を学び、神経や身体という視点から子どものこころの動きや行動を理解すること、そしてその支援について学ぶことができると考えています。子どもや養育者を対象とした臨床を始めた初学者から、改めて発達研究を学び直したい経験者まで幅広い方のご参加をお待ちしております。

#### 使用文献

- ① スティーヴン・マロック、コルウィン・トレヴァーセン(編)(2018)『絆の音楽性—つながりの基盤を求めて』音楽之友社
- ② モナ・デラフーク(2022)『発達障害からニューロダイバーシティへ』春秋社

## **【Small Group S.V. Ⅲ】**

講師: 仙道由香先生

会場: 新大阪

日時: (原則) 第2・4火曜日 / (朝) 8:30~10:00

#### 講師からの内容紹介

成人(概ね大学生相当程度から老年期まで)の個人を対象とした精神分析的な心理療法について検討します。セッションの詳細なプロセス・ノートをもとに、小グループで、毎回丁寧にディスカッションを試みます。セッション内で展開する生き生きとした転移・逆転移などを理解し、それを語りかける方法の理解を目指します。参加者相互に話し合うことを通して、共に学び合う体験を持ってみましょう。

※前年度から引き続きご参加ご希望の方も、今年度分として改めてお申し込みをしてください。  
※参加にあたって懸念事項や質問などがある方は、事務局を通して講師にご相談ください。

#### 参考文献

- ① 「心理療法に先立つアセスメント・コンサルテーション入門」, 仙道, 2019, 誠信書房.
- ② 「チーム医療の現場を支える精神分析的アプローチ: 精神病のコミュニケーションを解き明かす」Evans(著), 仙道(訳), 2022, 誠信書房.

## 【森ノ宮事例検討会】

講師：津田真知子先生・竹山陽子先生 他  
会場：京橋（ハイブリッド）  
日時：第2土曜日／18:30～20:30

精神分析学会認定研修グループ  
（症例・事例検討会）

### 講師からの内容紹介

精神分析入門セミナー（15時30分～18時）の後の時間帯（18時30分～20時30分）に行われます。参加者が順番に事例を提供し、それを助言者の先生を中心に参加者全員で検討します。助言者は入門セミナーの講師、ゲスト講師の2名で、2名の先生とクローズドの参加者で毎回率直なディスカッションがなされます。凝集性が高く活発でオープンな雰囲気のできる検討会ですので初めて事例を出される方も参加しやすいものです。参加者は、事例を提供できる方に限定します。事例検討会は、自分の経験していないケースについて考え、自分の考えを言語化する訓練の機会になり、臨床家に不可欠な研修です。オンライン参加も可能です。日本精神分析学会認定の事例検討会ですので、精神分析学会の会員、特に認定取得を希望される方の参加を歓迎いたします。

## 【思春期青年期の精神分析的心理療法セミナー ：タビストックのアドレッセント臨床を学ぶ】

講師：飛谷渉先生  
会場：なんば（オンライン又はハイブリッド）  
日時：第2土曜日／18:30～21:00

### 講師からの内容紹介

本年のテーマ：「ヒステリーを理解する：現代の思春期病理と発達障害との関連から」文献講読と事例検討の二部構成になっています。今回の思春期セミナーでは、今日も日々の臨床において出会い続けているにもかかわらず学ぶ機会が少ないヒステリーという疾患概念とその治療について、改めて現代的文脈から捉え直すことを目指します。特にヒステリーと発達障害とはいかなる関係にあるのか、心身症とどのように異なるのかなど、臨床家のもつ素朴な疑問に接近すべく、そのヒントとなる文献を読むことで、ヒステリー概念の歴史的意義と現代におけるヒステリー性疾患の様態を明らかにします。10回のうちの2回は、講師によるヒステリーに関する臨床講義を行います。

思春期青年期（13歳～22歳）の臨床例をお持ちの臨床家、もしくは近い将来そのような年齢層の患者との面接をする予定の臨床家が対象となります。スクール・カウンセリング、学生相談、児童思春期精神医療、児童養護施設など、様々な領域からの事例検討を行います。その際、特に臨床現場の特性やセッティングの相違によるアプローチの違いに焦点化して検討します。メンバーには文献講読か事例検討どちらかへのご発表をしていただきます。

### 使用文献

‘Mad Men And Medusas: Reclaiming Hysteria’(Basic Books,2000)

## 【心理療法のアセスメント(成人)】

講師: 仙道由香先生

会場: 新大阪

日時: (原則) 第4土曜日 / 18:30~21:00

### 講師からの内容紹介

どのような心理療法でも、依頼を引き受ける前に、精神分析的な観点に基づく丁寧なアセスメント・コンサルテーションが欠かせません。アセスメント・コンサルテーションとは、その患者に、今、①何らかの心理療法を行うことによってデメリットに比して十分大きなメリットが見込めそうかどうか②どこで、誰が、どのような心理療法をどのように行うことが最も大きなメリットが見込めそうかを③担当者自身や治療構造の特徴や限界なども加味して見極めつつ理解しようとし、判断し、提案し、合意に至ろうとするプロセスを指します。このプロセスそのものが、既に治療的な体験になることもできます。本セミナーは、そのようなアセスメント・コンサルテーションについて理解を試みます。

毎回、まず時間の前半では、参考文献の指定の章を講読し、理解を深めます。後半では事例検討を行い、より实际的・体験的な理解を目指します。

※本講義は、成人(概ね大学生相当程度から老年期まで)を対象としたアセスメント・コンサルテーションを取り扱います。この年齢層以外(例えば子どもなど)について考えたい方は他のセミナーを選択してください。

※前年度から引き続き参加継続の方や改めて再度参加の方も歓迎します。

### 使用文献

- ①「心理療法に先立つアセスメント・コンサルテーション入門」, 仙道, 2019, 誠信書房.
- ②「精神分析的な心理療法におけるコンサルテーション面接」, ホブソン(編), 福本(監訳), 2019, 金剛出版. または「Consultations in Psychoanalytic Psychotherapy」Hobson(Ed.), 2013, Karnac. (日本語版・英語版好きな方を選択してください)

### 参考文献

「チーム医療の現場を支える精神分析的アプローチ: 精神病のコミュニケーションを解き明かす」Evans(著), 仙道(訳), 2022, 誠信書房.

## 【初学者向け子どもの心理療法セミナー】

講師: 渡邊智奈美先生

会場: オンライン

日時: 第2土曜日 / 13:00~15:00

### 講師からの内容紹介

このセミナーは、大学院生や臨床経験5年目くらいまでの初心者の方を対象としています。子どもの精神分析的な心理療法に関心があり、実践し始めたばかりの方に向けているセミナーです。訓練コースに入ることを検討しつつも、まだはっきり決心がつかない初心者の方にも向いています。セミナーの前半(1時間)は、子どもの心理臨床に関する文献についてディスカッションしながら理解を深めていきます。受講者で発表を分担し、全員でディスカッションできればと思います。後半(1時間)は子どもの事例もしくは観察記録についてのディスカッションを

行い、参加者が自らの臨床について言葉にして提示する機会を提供します。初学者ならではの素朴な疑問、心理支援をしようとするうえで生じる不安についても一緒に考えていく場にしたいと考えています。このセミナーは同じような経験をしている初学者メンバーが集まるグループでもありますので、仲間とともに日々感じることを率直に話し合う場として、臨床実践をしていく上で大いに活用していただければと思います。

※臨床経験が5～10年の方も参加していただけますが、参加希望者が多い場合は、お断りさせていただく場合もあります。ご了承ください。

#### 使用文献

グレイアム・ミュージック著 鵜飼奈津子・藤森旭人 監訳『トラウマを抱える子どものこころを育むもの—アタッチメント・神経科学・マインドフルネスとの出会い』誠信書房

#### 参考文献

グレイアム・ミュージック著 鵜飼奈津子 監訳『子どものこころの発達を支えるもの—アタッチメントと神経科学、そして精神分析の出会い』誠信書房

## **【MBT-Cを臨床に生かす】**

講師：ガヴィニオ重利子先生

会場：オンライン

日時：第1金曜日／20:00～22:30

#### 講師からの内容紹介

このセミナーでは、子どものための Mentalization Based Treatment(MBT-C)を実際の臨床に活かしていくために、その材料となるような読み物(研究論文や書籍の一部)を参加者の臨床現場や興味に合わせて一緒に選択していきます。

前半、参加者全員でそのセッションに選ばれた読み物を吟味した後、後半、そこでテーマとなった内容をより実践的に考えるための事例を用いたディスカッションを行います。メンタライゼーションの源泉となる愛着理論や Reflective functioning を始め、参加者の興味に沿って、MBT-C を多様な角度から自由に思考し、対話することを目指します。心理療法として MBT-C を実践されたい方だけでなく、学校、デイケア、行政、福祉施設など、さまざまな現場でそのエッセンスを活かしたいと考えておられる方々とも是非、一緒に学べる機会となれば幸いです。

MBT-Cベーシックトレーニングや、MBT-Cのスーパーヴィジョングループにご関心のある方は、研修プログラムグループ事務局(kenshu@sacp.jp)までお問い合わせください。

## 【土曜研究会】

土曜研究会委員会企画

会場：御池（ハイブリッド）

日時：第3土曜日／19:00～22:00

### 委員会からの内容紹介

文献講読と事例検討会を行いながら、専門会員が個々の研究について発表していきます。NPO正会員はボランティア会員含め、どなたでも、いつからでも、無料で参加することができます。会場は御池心理療法センターとオンラインを予定しています。

※参加ご希望の方は研修プログラムグループ事務局までご連絡ください。

## 6. 講師紹介(敬称略、50音順)

狗巻修司	京都府立大学大学院修了(博士:福祉社会学)後、日本学術振興会特別研究員(PD)、佐賀大学文化教育学部講師を経て、現在、奈良女子大学研究院人文科学系准教授。
鵜飼奈津子	1997~2004年タビストック・クリニック児童・家族部門留学、Child & Adolescent Psychotherapist取得。ロンドン医療センターおよびRefugee Therapy Centre、Child & Adolescent Psychotherapistを経て、現在、大阪経済大学人間科学部教授。認定NPO法人子どもの心理療法支援会顧問。
ガヴィニオ重利子	臨床心理士。Anna Freud Centre認定、MBT-Cプラクティショナー/スーパーバイザー。スイス・ジュネーブ州でChild-Parent Counselling開業臨床に従事。University College London Psychoanalysis Unit博士課程在籍。
久保信代	奈良県立医科大学大学院医学研究科修了(博士:医学)。現在、関西福祉科学大学心理学部心理科学科准教授。臨床心理士、公認心理師。Adult Attachment Interview 認定コーダー、Preschool Attachment Rating Scales認定コーダー。自閉スペクトラム症を抱える子どもの心の発達を重要な他者との関係性から捉え、よりよい関係性の発達をどう援助するか、を臨床と研究の課題にしている。
鈴木誠	1988年名古屋大学医学部精神医学教室 卒後研修修了。現在、くわな心理相談室 主宰。日本精神分析学会認定スーパーバイザー・認定心理療法士。認定NPO法人子どもの心理療法支援会監事。
仙道由香	臨床心理士。2008~2014年タビストック・クリニック成人部門留学。タビストック認定成人心理療法士(TQAP)資格取得。英国精神分析協議会(BPC)登録精神分析的な心理療法士。現在、新大阪心理療法オフィス代表のほか、大阪経済大学および同大学院にて兼任講師も務める。 <a href="https://yukasendo.com">https://yukasendo.com</a>
竹山陽子	奈良女子大学修士課程修了。現在、御池心理療法センター/岡クリニック勤務。日本精神分析学会認定心理療法士及び認定スーパーバイザー、NPO法人子どもの心理療法支援会認定子どもの精神分析的な心理療法士及び子どもの精神分析的なコンサルタントセラピスト。
津田真知子	奈良女子大学修士課程修了。関西心理センター・谷町子どもセンター所長を経て現在、大阪心理臨床研究所代表。認定NPO法人子どもの心理療法支援会副理事長。国際精神分析協会(IPA)認定精神分析家(日本精神分析協会準会員)。日本精神分析学会認定スーパーバイザー。精神分析的サイコセラピーインスティテュート・大阪(IPPO)理事。
飛谷渉	1991年大阪市立大学医学部卒、2004~2008年タビストック・クリニック思春期青年期部門留学。現在、大阪教育大学保健センター准教授。精神科医、日本精神分析学会認定スーパーバイザー、認定NPO法人子どもの心理療法支援会顧問。精神分析的サイコセラピーインスティテュート・大阪(IPPO)理事。

平井正三	京都大学教育学研究科博士課程を経て、タビストック・クリニック児童・家族部門留学、Child & Adolescent Psychotherapist 訓練コースを修了し、資格取得。現在、御池心理療法センター代表および認定 NPO 法人子どもの心理療法支援会理事長。大阪経済大学客員教授。日本精神分析学会認定スーパーバイザー。精神分析的サイコセラピーインスティテュート・大阪(IPPO)会長。
榎原久直	大阪大学大学院博士後期課程修了(人間科学博士)。現在、神戸松蔭女子学院大学人間科学部准教授。臨床心理士・公認心理師。関係性の発達に焦点を当てた療育教室「感覚運動指導教室PRIME」の運営に携わっている。
渡邊智奈美	大阪大学大学院人間科学研究科博士前期課程修了。臨床心理士。公認心理師。2015年「子どもの精神分析的な心理療法士」資格取得。現在、河内総合病院、大阪心理臨床研究所に勤務。

※本NPOは、精神分析的な心理療法の実践において、個人スーパービジョンおよび個人分析・個人セラピーを受けることは重要かつ欠かせないものと考えております。個人スーパービジョン、個人分析をご希望の方には、ご相談を受けまますので、事務局(info@sacp.jp)までご連絡ください。

## 7.会場

それぞれの会場の詳細は、受講が決定した際にお知らせします。

表記	会場の名称	最寄駅
御池	御池心理療法センター	阪急烏丸駅下車15分、 地下鉄烏丸御池駅下車2分
梅田	(詳細は受講決定後にお知らせします)	JR・阪急・阪神梅田駅下車10分 地下鉄中崎町駅下車すぐ
なんば	精神分析的な心理療法・プラクティスなんば	地下鉄大国町駅下車5分
京橋	大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室	JR・京阪・地下鉄京橋駅下車5分
新大阪	新大阪心理療法オフィス	JR・地下鉄新大阪駅下車7分